

経済ポケット ジャーナル



★第四突堤に東洋一の 船客ターミナル

神戸港に出入りする観光船の数は年々増加し、外人観光客も急増しているが、これを受けられる施設はふるびた倉庫の二階に送迎デッキがあるだけというおそまつなもので、これを機に開かれるので、これを機に神戸市では総工費二十億円を投じて、東洋一というパッセンジャー・ターミナルの建設工事をすすめていく。

このパッセンジャー・ターミナルは大部分が神戸大橋を架けるための第四突堤の延長部分に建てられる。一階は貨物倉庫、二階には必要な事務機能をおさめ、

三階は一般の人にも自由に入りできるレストラン、ショッピング・センター、送迎デッキを設け、駐車場も二、三階につくられる。

また、中央突堤でも、倉庫をパッセンジャー・ターミナルに改装する工事をおこなっている。こちらは極東航路を対象にしており、中央突堤に、第四突堤のターミナルにくらべると小規模だが、二つつくられる。第四突堤、中央突堤、いずれも万博までに完成すべく工事をいそいでいる。

★銀行も電算機時代

神戸銀行事務センター

神戸銀行では事務合理化とオンライン計画の一環として、生田区播磨町の本店南側、二千方の敷地に地下二階、地上八階、塔屋二階、床面積一万三千平方メートルの「事務センター」を建設中。このビルの三階、四階には、同行の中核機能になる電算機群がおかれ、ビルの機能、構造もこれらの電算機に附随した設計が施されている。予定されている

る電算機はF A C O M 二三〇一六〇とよばれる国産最大最新の電算機とそのシステム群からなり、全国にある同行の支店、営業所からのデータを記憶し、指令するもので文字どおり、同行の頭脳になる。



事務センター完成予想図

工事は昨年十月に着工し、以来まだやっとな、鉄骨が地上にのぞいた程度で、完成は来年の七月の予定。普通のオフィスビルにくらべて工期が倍以上かかるのは、同ビルが特殊な設備、機構をもっているためで、総工費も五十億円を超えるものとみられる。

★KOBЕ オフィスレディ★



久山とも子さん (19)

三菱重工神戸造船所総務部勤務

170cmちかひい長身、大柄で女子バレー部同僚とよく比較される。サッカークラブの顧問も兼任している。また、サッカー好きで、山本武蔵のファンでもある。山本は、感動が溢れる選手である。また、山本は、感動が溢れる選手である。また、山本は、感動が溢れる選手である。

灘区藤原北町在住 松蔭高校43年度卒業

★神戸経済同友会 新代表幹事に 岩武、小泉氏



岩武照彦氏

神戸経済同友会では四十四年度の代表幹事に岩武照彦(神戸製鋼所常務)、小泉徳一(小泉製麻社長)の両氏をえらび、四月十四日の通常総会から就任し、任期一年で、来年の通常総会まで同友会代表幹事として世話役をつとめることになった。

同友会代表幹事は、二年内なら再選をさまたげずと規約されており、両氏とも代表幹事の経験者。岩武氏は昨年にひきつづき、小泉氏も四十年にわたる活動にはよく精通している。



写真上・市街地再開発による新たな路地の出現。これも下町の風情がある。

写真左上・長田地区の中心地に建設されたゴム工場アパート。

写真左・旧来の路地からのぞく阪神高速道路と神戸デパート。

写真下・建ち並ぶ公共住宅群

★長田は、兵庫運河一兵庫一長田一板宿とつながる西の臨海既成市街地軸の一つのポイントです。

兵庫の流通機能に対して、ここは、生活中心機能が市街地活動の重点になっています。神戸デパートなどが建ち並んだ大橋市街地改造事業は、従来からも賑やかだった商店街活動に大きな刺激を与えました。街の喫茶店なども次から次へときれいに模様替えしていきます。公共事業としての拠点開発が周辺に与える効果を、評価すべきでしょう。

生活中心を支えるものは、何といても人口です。人口が集めてくるためには、住宅を用意しなければなりません。そこで、次は工場アパートなどで集約化された工場の跡地などに、公共の市街地住宅拠点がどんどん配置されていく必要があります。

住宅公共拠点は、住宅そのものも市街地のなかの生活が魅力的になる新しい都市住宅でなければなりません。同時に、下町としての長田の街の生活をうるおいあるものにする子供のための児童公園、大人のためのアトリエ、大人と子供のサロン、とでもいったものを組合せた設計であるべきでしょう。

神戸のアーバンデザイン
臨海既成市街地の
西軸再開発 その1

水谷 頤介 + チーム・UR

★山手幹線道路沿いの以前きれいな
お花畑があった土地が最近、宅地造
成されました。広い道路ができて、
ガソリンスタンドやマンションなど
が、ぼつぼつと建ち並びはじめた環
境の中で、とり残されたようにカラ
フルな花を咲かせている様子は、何
かちぐはぐなようでも周囲には大変
うるおいのある光景だったのです。
それが、ある日突然十区画ばかり
の宅地になって、まず建てられたの
がこの二軒の住宅です。

新しい宅地が今後どんな姿になっ
ていくかを暗示してくれるのが、こ
の家です。

このすまいでは、ガレージとアプ
ローチ部分を南の道路側にとり、住
居部分を少し後退させ、また、後の
平屋は前の2階建のおかげで、割合
落ちついた雰囲気を保つことができ
ています。

それぞれが全く独立した機能を持
っていて、しかも、南側の前面の2
階建の1階コンクリート造部分を共
有できるような形で、つながってい
ます。現在、後のお家は、離れのよ
うな隠居屋的な役割でむすばれてい
ます。この新しい和風のすまいは、
二世帯、三世帯が共同で暮らせる一
つの恵まれたタイプの一例だといえ
るでしょう。

(高月昭子)



★技術ジャーナル

V/STOL

Vertical/Short Take-Off
and Landing

垂直離着陸／短距離滑走離着陸機

諸岡博熊

△神戸市企画調査部副主幹▽

航空機の使命は空中を飛行することにあるため、なるべくなら地面滑走を避けたい。しかし、滑走路が全然不要の飛行船や軽気球の類いでは、空気より軽い航空機となつて速度が出せない。飛行速度を大きくするためには固定翼をもつ飛行機の形式をとることとなる。そのため滑走路を利用して陸発着するところが、飛行機の速度が向上すると、翼の抵抗が大きくなるので、小さくして抵抗を減らそうとする。そうすることによって、ますます滑走路長が増大し、三、〇〇〇呎を越すようになってしまった。滑走路がながいことはすなわち空港敷地が大きくなるので、都心を離れたところにその立地を求めざるを得なくなつてきた。こうなると、空港間をいくから速く飛んでも、都心連絡に時間がかかりすぎて、全体として他の地上交通機関と大差がなくなつてしまうこととなる。そこで、都心の狭いところでも離発着のできる

V/STOL機の開発研究が十五年程前から始まった。

滑走路の不要な垂直離発着するV/STOL機は一見便利なようであるが、短距離の滑走で離発着するSTOL機のもつ経済性には、今のところ及ばないと考えられる。

なぜなら高揚力装置の利用その他で一寸した滑走路を使うだけで推力の垂直成分のほかに固定翼の揚力が利用できるため、機体の出力に対しての重量比を大きくすることができからだ。現段階ではV/STOL機よりSTOL機の方が、多くの人や物をのせうる利点がある。

STOL機の備えるべき条件は翼が揚力の非常に高い装置を備えているか、さらに、低速時に揚力の補いをする装置をもつことが必



VTOL ハリアーの離陸するところ

要となる。前者から、ジェット・フラップなどの高揚力装置、後者から、推力を揚力として利用する形式の機体が考えられる。STOL機は、ヘリコプターに対し、最大巡航速度がすぐれ、ペイロード（積載能力）が多い点などで、研究開発が進んだ。しかし、最近ではSTOL機よりむしろV/STOL機の開発がさかんになってきた。

V/STOL機はその推力の利用方法とさらに高速飛行中と空中停止中との両操縦装置の種類別などによって各種のものが開発研究されている。とくに、イギリスが開発したホーカー・シドレー P1127 ハリアーは唯一の量産V/STOL機として、同国の航空工業界の与望を担っている。

今から十六年前、ロールスロイス社がハリアー(V/STOL)機の原理を発表、試作第一号機がテストフライトしたのが十二年前、これを軍用のV/STOL攻撃機としてテストをここ九年ばかり実施している。独・仏・米三国ともこの開発から手を引きハリアーを見守つた理由は、イギリスの航空工業界の技術の優秀さに対し同国空軍が冷たく扱ったからといわれる。実現に時間がかかっているが最近、ソ連の地中海艦隊が同種のジェット機を飛ばしているという情報が西側軍事通に伝えられ、アメリカ海兵隊は十二機急いで発注したといわれる。



□らしくないデザイン

日頃なにごとにつけ個性的、独創的を標榜なさるお方でも、さてマイルームとなると途端に和風らしくとか、北欧風ムードとか、いわゆる「らしき」デザインを所望なさるのが常。

そこでデザイナーは思うのです。なぜ人は自分に合った、自分の住いを求めようとは思われないのでしょうか、若しこれが衣服であれば「らしき」なんて済まされないのでは……。

左の例は洋風の部屋にタタミと掘ゴツツの和式を取り入れ、コタツの持つ無精な感じをバックの戸棚と空間の広さでおぎなった折衷の居間ですが、施主の住いに対する偏見のないプレーンな意見とデザイナーのアドバイスが「らしき」のない個性的な団ランの場を作り出したものです。

「ミリフネ」には現在、老若合せて3名のデザイナーが居り、彼等は常に神戸っ子のアドバイザー足らんと日々研鑽怠りなく待機中です。



こんにちわ…ごあいさつ!!

みどりの風を楽しむ頃は

青い畳の上に限ります

会席料理…

鯛の生づくり

車えびの塩やき

瀬戸内は

鯛、あじ、すゞきの魚じまで

食道楽の天下…。

赤坂名物神戸肉を焼いて

野菜をたっぷり

舌づつみが絶えません

閑静美庭岩風呂

料理旅館

アソケル
抽象画のある

赤坂

三宮元町
神戸駅より五分

神戸中山手四 ② 7836・7846



呉邦彦

みよこや

神戸店 大丸 前

電話神戸 ③③③② 三四八番(代)

大阪店 阪神百貨店三階

電話大阪 ③⑥① 九五八四番

姫路店 やましき百貨店四階
電話姫路 ②③ 一二二一番



サンテレビ探訪

レースのかかった窓越しに、街の雑踏が濃く、灰色の
大気が、わずかに夕映えの建築物のシルエットを浮かび
あがらせる頃、ロビーでは、外気と離れた人いきれで、
視線をことさらに避けようとするか、或いは自分が注視
の的になりたげな、張りつめた呼気に溢れていた。



サンテレビホールのカメラリハーサル風景での安来節

四月二八日。神戸製鋼と神戸新聞の社員は、いずれが
どちらともわからぬスタイルブックからの切り抜きで、
お互いに牽制しつつ、メモを読みながら雑談を生み出す
という風情で、黙って天井を見ている朋友をいらいらさ
せながら、喫茶室の椅子をおちつかせることもなく、四
時間後の本放送を待っている。

なお悪いことに、ディレクターが狭い階段を連るよう
に降りてくると、使い走りが伝言を胸にぶつかる勢いで
蹴上る。そのたびに、ロビーの住人はスタジオを見や
スタジオから聞こえてくる「小樽の女」が、秒を刻む
機械の世界と、そのために時間を消費する世界を悠長に
皮肉っているようだ。黒く天井を塗りつぶした照明装置
と白から黒までの横縞のパターンに眼を据えつけられた
二台のカメラ、それにうねうねと蛇のように走り動く配
線の静けさだけが、まだ人の臭いのしないスタジオの不
満に耐えている。

午後四時。西条遊児・笑児と徳永芽里がスタジオへ。

家庭電化の合言葉で始まった電化ブームは、一躍、テ
レビを時代の旗手として抬頭させ、驚くほどのテンポで
普及し、いまや一世帯一台どころか、一人に一台とい
うほど生活の一部となってきた。

しかし、これまで兵庫県では、隣接府県からの放送し
かなく、神戸、阪神間では在阪四局の民放テレビ、姫路
西播地区では岡山、高松局、但馬では鳥取、淡路へ行け
ば徳島テレビを見せられていた。

神戸並びに四五〇万県民を有する独特の風土と広域を持つ兵庫県の文化の開発を育成するためにも、また、電波の谷間といわれた姫路、西播地区に於けるテレビ保有台数の増加とそれに対する電波の浸透の必要性、同時に西播、東播の工業地帯の発展による市場性の増大と、それにとまう販売革新の媒介としてのテレビメディアに対する需要、ひいては県域全体にわたる道路網の整備と共に要求される通信網、情報網の必要性、人の移動の裏に潜む情報の交換に対する要求、これらがあいまって、「兵庫県にも独自のテレビ局を」というスローガンに集約された。これは十年も前のことである。

昭和三十四年にラジオ関西が中心になって初の姫路独立テレビ局の申請が出され、その後、金井兵庫県知事を先頭に期成協議会を結成。ここにサンテレビが全国十五社十六局とともにUHF（極超短波）による予備免許をうけ、悲願は十年目でやっと実を結んだ。

兵庫県では、昨年三月九日、神戸新聞、ラジオ関西そ



2 階 副 調 整 室 の 放 送 機 械

の他財界が出資して兵庫テレビができ、さらに四月十五日、新たに兵庫、神戸市、姫路市の出資をのみに、資本金三億一千万円、社長に田中寛次、神戸新聞社社長、専務に関口寿一、ラジオ関西

専務他、県、市、財界に取締役の陣容を揃え、「株式会社サンテレビジョン（JOUH-TV36チャンネル）」と社名を改め、今年五月一日の本放送を期しての産声をあげた。

電波は国民すべてのものなのだから、難視聴地区は解消しようという郵政省の方針のもとに生まれたサンテレビジョンは、その建前と、現実と在阪四局の電波への新たな挑戦という本音とを持って生まれたその陣痛が、「県民みんながつくるテレビ」「四五〇万県民のテレビ」「県下全域がスタジオ」というキャッチフレーズに縫合わされ、この一年の歴史は、その生みの苦しみに投葉する鎮痛剤の模索と、五月一日での認知にともなう快楽の充足との相克であったといえよう。

それは、「四五〇万県民のテレビ」の唄い文句が、この一年のうちに「四五〇万人のテレビ」と変わったことに、内部の苦しみが読みとれる。

四時二十分。副調整室で色彩パターンをとらえる映像だけが鮮やかに動いている。カラーカメラ装置を早くから暖めておかないと、きれいな色が出ない。機械だけが準備する中で、ガラス越しに一階のスタジオが見える。中間色の中に、白文字で描かれた「サンテレビホール」八文字の下で、スタッフの打合せが始まった。

主調整室では、フロアに林立する機械の中で自動番組送出装置（A.P.C.）を見つめる眼がけわしい。電子計算機にプログラムを覚えさせ、それが秒の指示と共に、放送中、並びに次の番組を送出していくことになっている。テロップを送る機械がT₁、T₂と名付けられ、フィルムを映写する機械がF₁、F₂と指示されて、それぞれが電子計算機からのコントロール・システムによって、秒単位で始動する。そのプログラムを作るための下準備として、VTRのフィルムを見る二人の女性が、映像の時間を計ると同時に、CMを入れたり、タイトルを入れたりするタイミングとその秒刻をメモしている。それははず



れも放送実
施部の仕事
である。
四時四十
五分。五十
五分から流
れる「テレ
ビタ刊」の
準備で主調
整室の空気
が動きだす
おい、フィ
ールドはでき
とうか。誰
がテロップ
するねん。
秒読みが始

まり、刻限がくる。緊張感が一瞬ほぐれる。

ロビーでは、安来節を踊るおじさんが、眼だけギョロつかせて黙って座っている。スタジオが騒しくなってきたのと対照的だ。

サンテレビは、五月一日からの本放送を前に、三月十五日、長田区大開通の新社屋に神戸新聞会館より移転、四月六日からテスト放送を開始した。

新社屋は、地上三階、地下一階の鉄筋コンクリート造で、裝飾のない屋上からオレンジ色のパラポラアンテナが、地上高四十五mにそびえている。一階がスタジオ、ロビー、喫茶室、二階が放送機器室、三階が事務室となっている。スタジオから収録された映像と音は、副調整室から主調整設備を経て、出力0.2WのSTL装置をつかってパラポラアンテナで発信される。これを受けるのが摩耶山頂のアンテナで、クライストロンという送信装置で六〇八〜六一四MCの極超短波が、双ループアンテナ

から神戸の空高く飛びはねる。さしずめ、その電波の跳躍は、サンテレビという名にふさわしい五月晴れの空を走りまわる妖精の跳躍だ。

しかし、その妖精を家庭に招待するには、土産を用意せねばならない。それが、昨年来からの話題のコンバーターである。電気に強い人は別として、一般人には、そのコンバーターたる代物が見当がつかない。UHFとは一体なんなのか、どうしてコンバーターなど買う必要があるのか、現に今のテレビで十分ではないか、とためらう人の多い中で、サンテレビは絶えまないアピールで、次々と新企画を打ち出した。

それが視聴者参加のワイドショーである「サンテレビホール」であり、ナイターの完全中継を狙った「サンテレビボックス席」なのだ。

五時三十分。ドライリハーサルが開始。狭いスタジオに仕切りが置かれ、出場者がそれぞれの位置につく。生放送の緊張感が昂まる。それをほぐす遊児・笑児の掛け合い。演芸に出る東京からの東一平・八平の両人が、自分たちの位置を確かめるため激しく動き廻る。台本を片手にチーフの内海ディレクターが、三力所のコーナーの位置をスタッフと動いている。徳永芽里が軽く歌を一曲マイクが入ってない方が歌い易いわ、でどどと笑いが興る。美術裝飾囃子の納健氏。大工仕事からペンキ屋まで何から何までまかされているという文字通りの囃託。演劇の舞台装置をしていた経験が役立っているが、実際、大変ですね。個人の才能をいかに発揮するかでなく、チームワークをいかに生かして即断できる姿勢が必要ですよ、とあれこれとスタジオで指示を下しながら語った。

六時三十分。サラリーマン考現学担当の放送作家・織田正吉氏。こういう視聴者参加番組は、新聞のコミュニケーションペーパー方式と同じで、コンバーターの普及にもつながるでしょうね。東京で大事事故が起こるより、隣りのおばはんが殺されたという方がおもしろいし、と物騒な例えを出す。今日は大丈夫ですか？と聞くと、小さなメモ

を取り出してざっと目を通し
ロビーの方に消えた。

六時四十五分。カメラが映
像をとらえ、マイクがするす
ると伸びる。内海ディレクタ
ーが副調整室に上り、レシー
バーを通しての合図がある。

照明がスタジオ一杯に広がり
淡い影しか生まない。フロア
ディレクターが這うようにし
てカメラの前を潜る。カメラリハーサル
の合図。赤味が
かったブラウンのブレザーを着た遊児・笑児が、本番通
りの独白に入る。

ロビーではカラー漫画の主人公が楽しげに笑っている
が、見る者は誰もいない。

本番まで15分だよ、ああいやでも始まるな、と嘆息と
もつかぬ声で休憩と食事が始まる。

サンテレビホールは週三回、午後八時〜九時の時間帯
を持つている。既成民放局が、この時間帯を非常にコン
パクトな番組構成しているのに対し、フリースタイルの
生の魅力をぶつけるという趣向だ。人間臭いローカリテ
ィを画面にクローズアップすることが、機械を通しては
いるが、制作者と視聴者との真の人間交流を生みだすし
それは、台本通りでないハプニングを生ずる人間性の余
裕となつてでてる。娯楽性プラス社会性。これが視聴
者にスタジオまで来て貰う真の魅力なのだ。茶の間にい
て知人の映像を見た人は、その足でスタジオにくる。こ
れがタレントになる資格なのかもしれない。それが、こ
れからのローカリティなのであろう。

八時。定刻。一瞬の静けさと共にスタジオが暗くなる
スタジオお秒読みと共に音楽がかかり、ライトが戻ってカ
メラが廻る。

ええ、皆さん今晚は、西条遊児です。笑児です。



サンテレビジョン新社屋

今日は、月曜日のサンテレビホー
ルですな。

やっぱり月曜日が一番おもしろい
やないか(笑)

ここに居るのが徳永芽里さん。
メイドイン半分ジャーマニとい
うことで(笑)

ほな、演芸行きまひよか。

四月六日。サンテレビボックス
席を控えて主調整室は総動員だ。

松島アナウンサーとバルボンを映像がとらえ本放送が始
まると、選手名や打率やら、得点やらのテロップが、映
像がかわるごとに大声で要求される。

帰路についてラジオが伝えた。十時二十分をすぎても
延長十回の裏、ついに逆転して八対七で阪神が勝った。

サンテレビ誕生にふさわしい劇的な中継であった。画
面を見て一喜一憂しているファンと共に、主調整室で、
はじめて中継車を使つてのナイター中継で、それが予定
を延長する時間となつたスタッフの慌てぶりが眼に浮か
ぶと同時に、彼らの胸中に、してやったりノとの感慨が
走っているであろうと察することもできた。

サンテレビは、全くの素人のあつまりである。だから
スタッフは、一日も早く玄人にならうとぎりぎりの努力
を重ねている。朝八時に入つて、放送が終ると厳しい自
省のミーティングが続く。帰宅時間を気にするものはい
ない。その中で、建前と本音を同時に亀裂なく生かすの
には多少の愛嬌が生まれる。

日曜夕刊のタレントである山崎進氏は、四日の放送は
奇跡的に一秒の狂いもなく終わりました。生放送以来初め
てのことだと、スタッフ一同大喜びでしたよ、と語って
くれたが、それはコンバーターを買って画面を見ている
市民、県民の声を代表しているといえよう。

こんにちは赤ちゃん

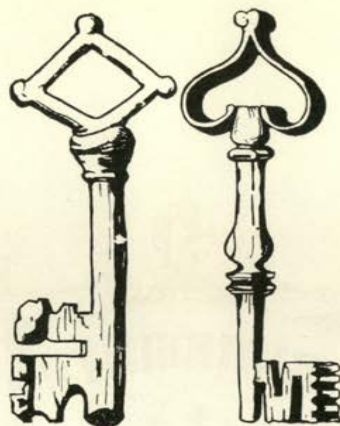


西宮市 藤井政樹ちゃん
完全看護★冷房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柁町 9 番地
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表



どんな鍵でもすぐ複製します
カットは遺跡で発見されたポンペイの鍵

インテリアデコレーション
合鍵と錠前



KOBE 三宮・トア・ロード ③ 0193-6507

カギ屋金物店

OSAKA 心齋橋そごう地下一階



GENERAL  ELECTRIC

水屋兼用になる
大型冷蔵庫
特約販売中



輸入家庭電化製品
神戸唯一のGE特約店

輸入電化製品の
修理も致します

リイチ産業株式会社

三 宮・トア・ロード TEL33-8673

★神戸の集いから

□KOB 行動美術展開く

さんちか広場において、KOB 行動美術が、四月十日～二十日まで作品展を開いた。

四月九日夜、オープニングパーティを持ち、百人近い参加者が、絵を眺めながら盃をかわしあった。

作品のなかでは「音」のテーマで出品した田中徳喜氏のガラスと鏡の立体的な作品が力作。他作品もモダンな行動美術の作品傾向を示す充実した展覧会。参加者には、且原六一氏ら行動美術メンバーに加えて、赤根和生、小野富次氏ら多彩な顔ぶれだった。



□第二回「日印文化交歓会」

神戸日印文化協会（理事長滝川清一氏）主催の第二回「日印文化交歓会」（実行委員長桑原泰業氏）が県民会館九階大ホールで、四月二十六日午後六時から開かれた。

プログラムは、日本、インド两国のダンス、バレエ、民謡など盛りだくさん。親和学園からも、コーラス班五十人、器楽班三十人が大量出演し、またインド舞踊家矢沢文子さんが東京からかけつけ、特別出演するなど、バラエティに富んだし物で、つめかけた日印七百人の出席者をよろこばせた。



chianti corner

★キャンティ



コーナー
いつのまにか
飲みにきてるの

村上千恵 AK・F・GモデルV

「キャンティは、落ちついて、バラらしい雰囲気なのがとてもいいわ。どこでも、女の子がいるの。アレかなわんわ。」



ごはんをたべて、その次がここかな。なんや知らんうちに飲みにきているの。ぐたぐたいうてもマスターに軽くイナサレルし、気をつかわへん。私はいつも水割り。ゆっくりのんだら角一本。たまにはブランディもいけれど。まあ、飲んでること自体が楽しいほうね。

わたしは、加茂みやじフアッシュヨングループですけど、モデルでいがいに飲む人少ないですよ」

洋酒の店キャンティ

Chianti*

楠 晴 夫

神戸・生田区北長狭通二二三
TEL 八三九V 3060

CINEMA

海



映画評論家

淀川長治

〈39〉

ートがアイスランドのブルーインヒルト姫を永遠の眠りから目ざめさせるため、赤い帆をあげて船出する、その北洋への海のひろがり美しく、海の青さが目にしみる。

海と映画は……もはや切ってもきれぬ仲である。海洋ロマンスこそはまさに映画の独だん場である。「シー・ホーク」をはじめ「白鯨」にいたるその海賊船のあらあらしさとその帆船の漁夫の肌の匂いには鷗の歌を聞くごとき、むしろ童心によみがえる海の夢がある。

海のきびしさを教えられたのは、イギリスの記録映画のロバート・フラハティ監督作品「アラン」(一九三四年作)のアイスランド西方の孤島アランの人たちの生活風物詩にあった。打ち寄せる波は岩を砕き滝と化し四散する。土がなく、そのひとつまみの土をも寄せ集め畑とするその島民の生活。冬は荒れ狂う海をくぐり鯨を追い、その獲物から油をとって夜の明りとする。四季に姿を変える波また波。ここでは海は美景ではなく彼らの闘いの場である。アイスランド作家のライアム・オフラハーティやシングの文学がこの風景からよみがえり、ことにシングのアラン島を描いた『海に乗りゆく人々』の海に息子を奪れた悲しい老母が目につく。

そういえばヘミングウェイの同名の短篇を映画化した「老人と海」(一九五八年作)も老いた漁夫の大かじきとの闘いにその海の男の誇りがきびしくも胸にこみあげた。

海の好きな監督のひとり、イタリヤのフェデリコ・フェリーニ監督がいる。彼の名作「道」(一九五四年作)は海辺の貧家から買われた白痴女ジェルソミーナの哀話であるが、この白痴女は悲しくなると海やたき火の焰を見つめた。海と火は人間原始の魂の寄りどころなのであるうか。このジェルソミーナを捨てた大道芸人ザンパノオは、やがて老いて孤独となったとき、はじめてジェルソミーナの神のごとき愛をさとり、その女を求めさがし、その女のすでに死せるを知って、男泣きに泣き崩れた場所も、海の波打ちぎわであった。ここでは海は神の目のやさしさときびしさを示す。

ミュージカルの「南太平洋」(一九五八年作)の中のエキゾチックな雰囲気をもった「バリ・ハイ」のポリネ

「ふたりだけの夜明け」というマルセル・カミュ監督作品は、パリの夜の世界に働く若者を描いた青春篇であるが、この作品のラスト・シーンは、その若者ふたりが、明るい朝の海辺で抱き合うところで終わっている。海の香りが、ふたりを清めた感じでホッとす。

そういえば「フアンニー・ガール」のあのフアンニー・ブライスも彼の船を追ってひろびろとした洋上にランチを走らせる。彼女の髪が海の風に乱れるのが、いかにも心よい。ここにもブロードウェイの夜の舞台から解放された(逃れた)女の心のたかぶりが感じられた。海は人間の心のふと、ころなか。

MGMの大作「大虐殺」は実は北歐伝説「ニーベルゲンの宝」の再映画化で、これは私が十六歳のときに見て感激したドイツ映画「ジークフリート」と「クリームヒルトの復讐」(ともに一九二四年作)をひとつにまとめた二時間四十二分の長篇であるが、ここにもジークフリ

シア女のブラディ・メリイの歌を聞けば、南海の月の夜を、または椰子の原始林からはるけき空に弓なりにかかる虹を、感じる人もあろう。

イタリアの記録映画作家フォルコ・クイリチの「最後の楽園」（一九五七年作）のタヒチの首都パペーテのパリ祭の夜明けは文化にむしばまれたタヒチの疲れ、それはなんとも悲しく哀れであったが、あの島の結婚儀式に新郎新婦がみんなから離れ、海底にもぐり海の中のテイキと呼ばれた神のほこらにお詣りするその水中での二人は美しかった。同じくイタリアのリカルド・フェリーニ監督（フェデリコの実弟）の「砂上物語」（一九六三年作）の海と女その三題のフランチェスカ、アンナ、ルチ



ふたりだけの夜明け



ファニー・ガール

アの物語にも海の香りがしみこんで、それがギリシヤ映画のニコラス・コンデューロ監督の「春のめざめ」（一九六三年作）となると、エーゲ海の磯にむらがる鳥が人間と化したように、十六の少女クロエと十三の少年スキムノスの、その愛が、春のめざめの焰を知って、その苦しさ少年は白鳥を抱いたまま海の波まにからだをまかせ海底に泡と化して消え去ってゆく。同じくギリシヤのヒドラ島の海綿採りの女を描いた「島の女」（一九五七年作）はアメリカのジーン・ネグレスコ監督の作品であったが、そのときのソフィア・ローレンの野性美が海の女の汐に焼けた肌を見事に感じさせ、その焼けつく太陽と波のうねりにも海の詩を聞くのであった。



大 虚 殺

神戸遊戯誌 69

★強かった初期の女子チーム

ソフトボールの生みの親アメリカでは、最初は室内用の野球といった形でインドア・ベースとして室内で行なわれていたが、一九二〇年（大正九年）ごろになって変動期にはいり、少数の人たちによってアウト・ドア（屋外）に持ち出された。これが日本を含めて今日のソフトボールの事実上の始まりといつてよいだろう。

その後ファンが急激に増加し、全米、カナダに多くのチームが誕生し、専用グラウンドが建設され、トーナメントも行なわれるようになり、一九三三年夏には全米トーナメントが挙行されて以来「ソフトボール」という正式の名称が用いられている。それまでは「リーグラン



昭和24年の第一回全日本高校女子ソフトボール選手権大会に優勝した福田元監督率いる芦屋女子高校チーム（上）と25年の第二回大会に優勝した東中俊明監督と県立兵庫高校チーム（下）

ド・ボール」「レクリエーション・ベースボール」「インドア・ベースボール」等とも呼ばれまちまちだった。その後婦人のソフトボール熱も盛んになり、今日にいたるまで選手権大会は男、女二本建て（日本も同様）となっているが、プレーヤーの数も男女合わせてすでに八百万ともいわれており、数年前からすでにプロのチームさえできている盛況ぶりである。

わが国の場合は、大正10年頃東京高師の教授であった大谷武一氏が欧米留学から持って帰り、学校体育の教材としたのが始まりで、終戦後は、昭和21年8月大阪の藤井寺球場で「ソフトボール」として講習会が開かれ、まず関西地方から復活した。同年10月大阪府下の12の女子チームの間で大会が行なわれたが、これがわが国最初の

ソフトボール ① 青木重雄

大会形式の試合だと「スポーツ70年史」（日本体育協会刊）には記載されている。たまたま当時進駐中の米軍将兵の間に同球技が行なわれていたので、それが直接の刺激となったのだが、神戸でも当時有馬道にあった進駐軍キャンプでの兵士らのソフトボール試合が外部からもよく見られたものだった。神戸でも同年同じ頃市立第二高女（現須磨高校）の校庭で女学校ソフトボールの最初の試合が行なわれたが、大会というほどのものでなく、その記録も現存していないが、福岡高女（現福岡高校）が優勝したものである。

当時は10人制（昭和25年から現在の9人制に変わった）で、二塁手と遊撃手の間にもう一人いたし、捕手と一塁手以外は素手であった。バットも軟式野球のバットを使用し、棒であればよいというような笑話も残っている。物資不足の折り柄ボールとても自由に手にはいらず、中にはくつ下を詰めて外を布で縫ってボールを作った器用な人もいたが、あらゆる点で世話役の人々の苦労は大変なものだった。とくに木村伊勢栄初代兵庫県ソフトボール協会々長はじめ帯野、滝本、鞍田、三宅諸先輩たちの舞台裏の苦労には涙ぐましいものがあつた。いったいソフトボールは野球に比べて女性的で全体にやさしく柔かい感じのスポーツとして受け取られていることはある点まで肯定されるが今日の皮製の球はかなり重く（重さ163グラム、周囲28.58インチ）中学生以上の使用球）、現在では女子でもスパイクをはいているし、ヘッドスライディングもやるぐらいだからケガをするケースもちょいちょいある。また、打球もなかなか飛びにくく、60歳を越すのは男子のすぐれたバッターに限られていて女子ではとても越さない。打球もカーブ、ドロップ、シュートといろいろ投げられるし、一見したほどなまやさしい球技ではない。だが、むろん野球ほどの猛烈さはない（球場の広さも野球の三分の二）から、年々学校、職場のレクリエーションとして盛大となり、とりわけ女子のスポーツとして好適であるため、県下でもプレーヤーの数は増加

の一方といえる。

さて、本県最初の公式戦として「第一回県女子中学校ソフトボール大会」が明石公園で開かれたのは昭和22年6月だったが、スタンド一杯に観衆が集まる盛況で、やはり福岡高女が明石高女（現明石南高）を破って初優勝を上げて神戸新聞社から等身大の優勝旗を授与され、これでいわゆる「人形大会」というものが誕生した。翌朝の同新聞には三段抜きで「乙女の球宴」として報道され、当時の人々の暗い心に女子スポーツ復興への明るい印象を与えたものだった。同年近畿大会も開かれ、これが全国大会への道となった。すなわち24年に明石高校で開かれた第3回県女子中学校のち高校に変わるソフトボール大会から初の全国大会の予選を兼ねて開かれることとなり、福田元監督のひきいる芦屋女子高が優勝して8月西宮球場で行なわれた第一回全日本女子ソフトボール選手権大会へ出場したが、決勝で香川県の坂出高校を2-0で破って文字どおり初の全国征覇をとげた。

翌年の第二回同大会も県代表の兵庫高校が河南高校（大阪）を破って優勝、兵庫勢の強さを示したが、次年度の第三回大会は加古川東高が準決勝で破れた。だが、27年度の第四回大会では芦屋女高が決勝へ進出して安田学園（広島）に惜敗し、第六回大会（29年）では成徳学園が同じく決勝戦で阿倍野高（大阪）に破れた。この間25年からは今までバッテリーだけであったのに野手全部がグラブを手にするようになったのが大きな変化だった。一方同年第一回県中学校大会が開かれ、現在の中体連総合大会の発足となった。8月明石小学校で開かれたが、神戸代表の駒ヶ林中学が優勝、準優勝校は錦城中だった。また、ほかの大会では24年から始まった国体競技県予選（高校女子の部）では県兵庫が初優勝し、同一般女子の部では扶桑鋼管が、全日本一般女子県予選（25年）でも同チームが優勝して県代表となった。

なお、県下男子のソフトボール進出はよほど遅く31年ごろからであった。（四四・四・二三記）

幸せな二人
えにしを結ぶ 結納儀式用品

壽



新型ケース入御結納飾

合資会社

遠藤福寿堂

東店—神戸市生田区トア・ロード高架上 TEL(39)代1871
西店—神戸市長田区市電菅原東入 TEL(55)代2251
メトロ神戸店—神戸高速地下街 TEL(34)1035

あなたの美しいヘヤースタイルと
花嫁をつくる 美容室 エリザベス



エリザベス

畑尾 美久子

本店美容室 生田神社前新河南ビル2階 <33>8894
婚礼衣裳部 生田神社前(元本店美容室) <33>3258
三宮店 三宮神社山側三上ビル2階 <33>4917
芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅前 <2>4067
西宮店 西宮市阪急西宮マンション北館1階 <67>1294
美容担当(東京初代遠藤波津子直流)専属結婚式場
生田神社・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・住吉
学園・蘇州園他